

常任委員会の審査

本会議から付託された議案、請願・陳情等の審査の主な内容は次のとおりです。

総務企画

渋川市国民保護協議会条例 などで活発な質疑

議案審査の初日は伊香保温泉再生事業の平成18年度実施事業15カ所の現地調査を実施し、事業の概要把握を行いました。

付託された議案は、条例の制定と改正が7件、渋川地区広域組合の規約変更と平成18年度一般会計予算の

9件です。

条例関係では「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づき、国民保護協議会条例、国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例が新たに制定されます。

審査では武力攻撃等の具体的事例、世界の流れは平和外交、戦争を前提とした条例では、などと活発な質疑が行われました。税条例の一部を改正する条例を含む3議案は多数決で原案どおり可決されました。

そのほか、職員定数条例、特別職の職員で非常勤のものへの報酬等の条例、市長、助役及び収入役の給与等の支給条例、職員の給与に関する条例の一部改正と渋川地区広域組合の規約変更については全会一致で原案どおり可決されました。

342億100万円の

平成18年度一般会計

平成18年度一般会計予算審査においては、歳入で、庁舎敷地使用料、社会・児童福祉負担金、生活保護費負担金、まちづくり交付金、清掃費補助金、財産運用収入など、歳出では、総務費で管理職手当と特別勤務手当の関係、赤城総合支所の適正推進事業、市長交際費、北橋地区の庁舎用地購入の完了は、道路橋りょう整備計画基礎調査、伊香保温泉再生事業、総合支所の機能強化、確定申告時の税務担当者の体制維持、消防費では損害賠償金、公務災害等共済事業、消防団運営費、ポンプ車購入などについて活発な質疑が行われ、多数決で原案どおり可決されました。

市民経済

市内全域を調査

議案審査の初日は、市内8カ所の現地調査を行いました。

金井南平地区では、農用地の区画整理事業を調査。

小野上地区では、峠山線の林地改良事業。子持地区では、国道17号線鯉沢バイパスと子持神社駐車場整備事業を。赤城地区では、日陰深山の土地改良事業と溝呂木地区の農業担い手育成畑地事業を。北橋地区では、畑作振興事業堆肥センターとブルーベリー畑を調査。

最後に渋川明保野地区の最終処分場を調査しました。あらためて新市の広大な面積と豊かな自然、商業地と農用地の一体的な創造の行方が調査できました。

付託された議案のなかで、一般議案の5議案について公の指定管理者の指定の2議案は、反対討論があり採決の結果、賛成多数で、可決。その他については、全会一致で可決されました。

農林・商工費に質疑

一般会計予算の審査では、総務費で、防犯灯、町名表示、男女共同参画の対応やDV対策などの質疑がありました。



工事が進む国道17号バイパス（子持地区）

衛生費は、大気汚染の防止対策、市営墓地や不法投棄問題のすばやい対応を求めました。

農林業費は、群馬用水の現状を今後視察すること、松くい虫、有害鳥獣や遊休農地対策などの質疑がありました。

商工費は、全市の観光ルートや観光マップの早期策定を要望しました。

反対討論があり採決の結果、賛成多数で、可決されました。

特別会計予算の11議案は、全議案全会一致で、可決されました。

請願・陳情は、採択

委員会に付託された3件の請願・陳情は、願意妥当で、意見書提出の措置になりました。

建設水道

建設水道常任委員会に付託された8議案の審査に入る前に旧渋川市を含め6市町村の各総合支所の代表的事業の現地調査をしました。

市道の道路改良事業、国道建設事業や災害防除事業そして都市公園改修事業等で支所担当者の説明にも力が入り各委員からもそれぞれの角度から質疑が行われました。特に伊香保長峰公園のツツジ原生林の迫力と新渋川市を一望する景色のすばらしさに感銘し、当日の現地調査を終了しました。

付託議案審査当日はまず建築基準法関係手数料条例の審査から始まり、建築確認業務を開始するのに必要な条例制定であり、新市が扱える区分の範囲等が議論されましたが全会一致で可決されました。

引き続き一般会計予算のし尿処理費、簡易水道費や農地費の内の所管事業、土木費、災害復旧費などの審議をしました。

小野上土地開発事業特別会計予算では5区画の販売見込みやPRの方法については、今年度中の完売を目指し回覧板や新聞折り込みなどの方法も考える。

下水道事業特別会計予算では水道水以外の水を使用する場合は子メータを取り付けているが、設置していない場合は下水道の使用量を認定水量としている。不透明な事例等について



国道353号災害防除事業（小野上地区）

は今後不公平感のないよう調査することを確約しました。

水道事業会計予算では水道料金の未納者対策について2カ月おきに集中月間をもつけ、職員による滞納整理を行いあらゆる手段を検討していくとのことでした。また送水管・配水管の材質について石綿セメント管の使用状況や布設替え、また完了見込み、その工事費等多岐にわたり質疑が繰り返されました。

教育福祉

平成18年度予算、

福祉教育で活発な質疑

議案審査に先立ち老朽化による建て替え工事中の半田保育園、5月1日開設の特別養護老人ホーム「ひかりの里」、伊香保のグループホーム・デイサービスセン



特別養護老人ホーム「清流の郷」(赤城地区)

ター「明月」、長尾小学校教室ロッカー、(仮称)こもち幼稚園建設地、特別養護老人ホーム「清流の郷」など計6カ所の現地調査を行いました。

付託の議案は渋川地域自立支援審査会の共同設置の協議について、一般会計予算、特別会計予算4件の計6件です。

渋川地域自立支援審査会の共同設置は3障害を一つの土俵に上げ審査されるとのことです。全会一致で可決されました。

一般会計予算は、介護慰労金について1年間の介護

実績が必要であり、老人クラブへの助成金はクラブの会員数で決まり、敬老祝金の旧6市町村のばらつきは解消することでした。包括支援センターでは虚弱な一般高齢者と介護保険で要支援1、2に認定された人を介護予防の対象にすること、児童虐待防止会議を設立したこと、公民館活動の対応では団塊の世代に係る2007年問題があることなどの質疑があり、多数決で可決されました。

介護保険特別会計予算は、平成12年4月に制度がスタートして、本年3月で施行から6年が経過しました。

そして介護予防に重点を置いた制度改正により本年4月から新たな枠組みでのスタートとなりました。今や介護保険制度は市民にとって必要不可欠なものとして多数決で可決されました。

そのほか、特別養護老人ホーム事業、伊香保リンク管理運営事業、用地先行取得事業の各特別会計予算は全会一致で可決されました。